

ミッションステートメント

【課題名】 知の頂点に向かって加速！東大プラン

【総括責任者名】 濱田 純一

【機関名】 国立大学法人東京大学

(1) 計画構想の概要

本事業計画は、2年間にわたり総長裁量ポストを延べ6ポスト配分することを契機として、従来の目標の超過達成を目指す。法人化以来、全学的に「安定的な職」の助教が減少し、特任研究員・特任助教等の特定有期の職の若手研究者が増加しているが、過去6年近くの期間をならせば、当該3分野は安定的な職への女性の採用割合を伸ばしてきた。アクション・プランや科学技術振興調整費事業「東大モデル『キャリア確立の10年』支援プラン」の数値目標は、優に達成されつつある。これらの取り組みを踏まえて、本事業では、総長裁量ポストを十二分に活用して安定的な職への女性研究者の参画を加速するものである。

(2) 3年目終了時における具体的な目標

3年目終了時における機関の安定的な職の分野別女性研究者比率

	実施機関全体	当該課題 対象分野計	理学系	工学系	農学系
実施機関全体	11.5%	6.9%	7.8%	6.0%	7.6%

(3) 実施期間終了時(5年目)における具体的な目標

実施期間終了時（5年目）における機関の安定的な職の分野別女性研究者比率

	実施機関全体	当該課題 対象分野計	理学系	工学系	農学系
実施機関全体	13.5%	7.9%	8.7%	6.9%	8.7%

(4) 実施期間終了後の取組

実施期間終了後も、全学的に、総長直属の男女共同参画室、そのもとでのポジティブ・アクション推進部会、部局における男女共同参画委員会等の体制を堅持する。科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業「東大モデル『キャリア確立の10年』支援プラン」により開設した男女共同参画オフィスについて、平成22年度以降も後継組織を設けて活動を継続することを決定したところである。

(5) 期待される波及効果

本学が養成した若手研究者は、学内における安定的な職に安住することなくステップアップして、国の内外で活躍している。本学は多様性に満ちた知を創造し、大学と社会の知の還流を促進することを通じて、知の頂点を形成することをめざしており、女性研究者の参画加速をその不可欠の一環として位置づけている。このような本学の取組が、他の組織や研究機関に及ぼす影響は大きいと期待している。